

JAWAJI PRESS

45th Anniversary

挑戦!!



2007年度スローガン

確かめよう 淡路の礎

そして45回目の変革

2007 vol.1.5

3回わん()
めよう 淡路の礎

Contents

- 理事長雑感 2
- ショーア歴史代イソタビユー 3
- 創立45周年記念式典各委員長からのメッセージ 4
- 事業報告 5
- 特集 礎を知る・編集後記 6

JCITM 社団法人 淡路青年会議所

www.awaji-jc.or.jp





2007年度理事長
木下 学

雑感

5月となりました。今年の春はスギ花粉の飛散が例年より少なく、例年花粉症でお悩みの方も少しは楽だったのではないのでしょうか？私も例に漏れず長年花粉症に悩まされているのですが、私の場合は杉ではなくヒノキとヤシヤブシといわれる雑草の花粉に悩まされています。時期も少し遅く4、5月の2ヶ月が最もひどく、梅雨入りまで体調不良が続きます。

四月を振り返ってみますと、まず講師にギャル社長藤田志穂さんをお招きしての研修例会がございました。熱い気持ち・目標をしっかりと持つこと、決してあきらめない事、自分がやって欲しいことはやる、やってほしくないことはやらない、スピードが大切、志を同じくする仲間へ感謝・・・昔から何も変わることに無い大切なことを若い彼女から聞けたという事が意義深かったのではないのでしょうか？

例会委員会の皆さんJaycee研修委員会の皆さんお疲れ様でした。また新年度となり、他団体の事業への参加も多くございました。13日にはソロプチミスト淡路主催のチャリティゴルフ、16日には第36回のじゃがいもゴルフ西日本地区大会、22日には淡路島アートセンターの総会、23日には淡青連の総会と各団体とも活動が活発になってきています。参加ご協力いただきましたメンバーの皆さん、ありがとうございます。今月に入り5日のこどもの日には恒例のわんぱく相撲淡路場所が開催されました。子供たちが一生懸命取り組む姿、勝つ喜び、負ける悔しさ、そして敗者への思いやりを感じることに出来た素晴らしい一日でした。今回は事前打ち合わせの段階からJCIが果たすべき役割、相撲連盟の皆さんにご協力いただきたい役割を双方でしっかりと詰めた結果、

13回目の進化が出来たのでは無いかと思います。そのことに前向きに取り組んでいただいた後藤委員長をはじめとする青少年育成委員会の皆さん、本当にご苦労様でした。

さて最近、日本高野連の特待生制度が大きな問題になっています。「特待生制度は高校生に『野球だけやっていればいい』と誤った優越感や特権意識を持たせ、精神面に大きな悪影響を与える」との理由で「野球部員であることを理由としたスポーツ特待生制度」を禁じています。もちろんルールを守ることは大切であります。しかしながら子供たちが将来の目標を持ってないといわれている時代において、高い能力を活かし夢を見つけないことが出来るのであれば、他のスポーツや学業同様、特待制度を認めるような動きも検討が必要では無いでしょうか。守るべきものと時代に合わせ変わるべきものを見極めは組織の維持・継続、発展の為、必要不可欠であると考えます。

最後に45周年記念式典・祝賀会近いよいよ1ヶ月を切りました。メンバーの皆さんには例年以上のご苦労をお掛けいたしておりますが、是非とも最後までこだわり貫き、45周年を先輩方とともにお祝いをし、また淡路のおもてなしを、お世話になった皆様に感謝の気持ちとしてお伝えできればと考えています。必ずやこの経験はこれからのそれぞれのJCI活動、企業活動に生きるものと確信しております。参加いただいた全ての人にとって素晴らしい一日にしたいと思しますので45周年企画委員会を始めとするメンバーの皆さんどうかよろしくお願ひします。



4月Jaycee研修例会



第13回わんぱく相撲淡路場所

シリーズ「周年」式典直前
歴代インタビュー vol.3

初代理事長 弦牧良治 先輩

45周年記念式典を一ヶ月後に控え、「確かめよう淡路の礎」として45回目の変革」のスローガンにある礎を確認するために初代理事長である弦牧先輩を迎え、淡路青年会議所を立ち上げたときの思いをお聞きました。

Q. 淡路青年会議所の設立の経緯を教えてください。

1963年、淡路に青年会議所はありませんでした。2月初旬、作らないといけないという空気が洲本商工会議所から起こりました。金融業という職業柄か、常任理事であった私を含めて40歳以下のメンバーが15人選ばれて集まりました。場所は淡路交通のバス発着場にある会議室でした。4人の世話人を中心に始まりましたが、このころにはすでにチャーターナイトの予定は決まっています。11月3日です。このチャーターナイトは周囲の方へのお

披露目を兼ねており、これを開催して初めて発足ということでありました。日にちが無く、急を要することです、すぐにも長を決める必要があった、その日すぐに選挙ということになりました。得票数が一番多かったのが私でした。株の取り引きをしていた私は仕事の手を離せないことを理由に一度は断りましたが、任期が一年で、世話人の説得もあって、腹をくくりました。とにかく、チャーターナイトの成功が一年目の最大のテーマでしたから、時間がないこともあって、毎日のように集まったものでした。



もともととは明石青年会議所がスポンサーで始まりましたがそのころは、「洲本青年会議所」でした。当時は市にひとつしか青年会議所を作ることができないということがあって、その名前で旗揚げをしました。この名前でチャーターナイトに向けスタートしましたが、資金を集



めないというにもなりません。明石だけでなく、神戸青年会議所をスポンサーにお願いし、洲本で40人のメンバーをかき集めました。しかし、これではまだまだ資金がたりなくて、津名・三原からもメンバーを集める必要がありました。ところが、「洲本青年会議所」では全島からメンバーを募るということに無理がある、と試みたのです。東京の日本青年会議所まで行って折衝し、言い合いました。認められなかったらわしゃやめる」とまでいいたよ(笑)。「淡路は国生みの島やから一つや」とかあらゆる方法で説得して、ようやく「淡路青年会議所」を認めていただいたのです。スポンサーが2つで、「淡路」という市以外の名がついた青年会議所は日本にひとつでした。

また、島内各地をまわって協賛金を集めました。(洲本市・洲本商工会議所・播淡汽船・阿淡汽船・淡路酒造・日測・淡信・淡交・神銀・七福・淡路町・北淡町・西淡町・三原町にご協力を頂きました。)以上、団体のご理解がなければ淡路青年会議所はこの世に生を受けていなかったでしょう。

資金面でのメドがたち、チャーターナイトへ向けスタートしました。場所もない時間もない中で活動していききました。このころは仕事そっちのけで活動しました。同じころに活動した仲間とは同志的結合で結ばれていたと感じています。最終的には600人を集めました。椅子を出すにもそれだけの人数を賄えるだけ揃えているところはなくて、全島からかき集めて揃えました。さすがに他LOMから見ても大きくて元気のいいチャーターナイトで、おっきな宴会もして、これをきっかけに淡路JCは有名になりました(笑)。

とにかく、「つくらなあかん」という思いだけでやってきました。全国にもPRに行きました。淡路は日本の原点であり、神話の地であると訴えてチャーターナイトを実現させました。時代の背景もあって実現できたのだと思います。

志を同じくして65人のチャーターメンバーがひとつの目的を持って団結し行動した。この行動力でもって実現できたものでした。JCは行動

力が命です。社会奉仕は、功なり名をとげて初めてできるものであって、40歳までのJCはリーダースhipトレーニングだと思っています。現に今の日本経済、政治を支えているのはJC出身者です。

JCはいったん足を突っ込んだらいろいろつきあいがあるもんです。それはしゃあない(笑)。商売抜きに人とうまくつき合っていけばいいJCのコネを大事にしたいと思っています。金儲けで動いている会ではないので話はある意味早いです。それがJCの大きな魅力ですね。

インタビュー後記
JC活動に対する熱い思いをユーマラスな語り口調で当時の状況を昨日のことのようにお話しいただきました。弦牧先輩ありがとうございました。

※文章では表現できない内容等があり、編集させていただいております。



創立45周年 記念式典直前企画 各委員長から メッセージ

日時 6月5日(火)
受付 午後2時
記念式典 午後3時~4時30分
記念祝賀会 午後5時~7時
場所 記念式典 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
記念祝賀会 ウェスティンホテル淡路

45周年企画委員会
委員長 中西 仁志

45周年記念式典・祝賀会がいよいよ1ヶ月を切りました。45周年の節目の折に、今までお世話になった方々に、きっちりとした活動報告をし、感謝の心を表すことが大切だと考えます。そして、今後の更なる活動のご協力を頂くためにも、今の淡路青年会議所メンバーの力を、見せることが必要だと考えております。

今回の45周年記念式典・祝賀会のテーマを「絆」一礎のもと、新しい輝きをりとさせて頂きました。絆とは、馴れ合いや親しみのよいうな意味ではありません。人と人との強く繋ぎとめるものを、即ち淡路青年会議所そのものを意味します。淡路青年会議所の大儀「明るい豊かな社会を築く」を実現するために、各委員会が同じ大旗を掲げ、この45周年を大成功に導きたいと考えております。そして、絆を深めることが、今後の新しい輝きになると確信しております。

実行委員会を立ち上げたことにより、各委員会には大変な負担をさせていただいていることと思えます。今、私たちが淡路青年会議所にいることは、必然です。このチャンスに是非ともご協力を下さい。そして全員で45周年を大成功に導きましょう！そして私たちの力を見せつけましょう！！

PS. 5月21日(月) 淡路国際会議場にて45周年記念式典・祝賀会決起集会を開催致します。メンバー皆様のご参加を、よろしくお願いたします。

理事長公室 公室長 木原 慎陽

45周年記念祝賀会を担当させて頂き、理事長公室です。いよいよ、6月5日(火)まで1ヶ月を切り日々盛り上がる気持ちと45周年記念式典・祝賀会にお越し頂く皆さんにどうすれば良かったかと思っております。今回は、膝と膝を付き合わせてのお祝いの場を設営することが出来ませんが、現役メンバー71名全員で45周年を迎えられた感謝の気持ちを行動で表現したいと思っておりますので、先輩の皆様にはひとりでも多くご出席頂き、現役メンバーに叱咤激励していただければと思っております。よろしく、お願い致します。

総務広報委員会
委員長 上河 護

今年度、総務広報委員会委員長を務めております上河護です。45周年記念式典にあたり総務広報委員会では案内状作成等総務関係と45周年記念冊子の発行を担当させて頂いております。

総務におきましてはミスが無いように最善を尽くしてがんばります。又、記念冊子については淡路JCをより広く一般の方々に向けて頂き、礎を確認し、今後の淡路島の発展そして淡路島からの発信を訴え、考えるの一助となるような企画を考えております。発行は新聞折り込みを予定しておりますのでその節はよろしくお願致します。

例会委員会
副委員長 太田 幸治

今年度、例会委員会副委員長を拝命させて頂いております。太田と申します。

例会委員会メンバーは私も含め入会3年目未満、周年事業も初めてのメンバーがほとんどです。今回の45周年事業では式典の設営・運営を担当させて頂いております。何分、周年事業自体は初めての経験なので、不安はあるのですが、メンバー一丸となって、設営・運営においてもなしの気持ちをもって挑みたいと考えております。

憧れの島創造委員会
委員長 柏木 敏孝

45周年記念式典並びに記念祝賀会におきましては受付・誘導企画の役割をいただいております。節目の年にお世話になった皆様に感謝の意を表すことと、LOMの足元を見つめなおすための周年事業かと思っております。当委員会におきましては、やるべきことをきちんとする受付と誘導企画の中で、ご足労いただいた来賓・OB・他LOMの皆様をどれだけおもてなしすることかできるのか勝負だと考えております。そうすることによって節目の年として感謝を表すとともに社団法人淡路青年会議所の礎を確かめ、今後のJC活動に向けたメンバーの資質の向上と絆を深めることに繋がっていきたくと考えております。当日は多くのメンバーにご協力をいただくことになおります。至らぬ点、多々あるかとは思いますがどうぞよろしくお願いたします。

Jaycee研修委員会
委員長 飛松 孝治

今年度、Jaycee研修委員会委員長を務めております飛松孝治です。

Jaycee研修委員会は45周年記念式典のオープニングを担当させて頂きます。

お越し頂いた来賓の皆様、諸先輩方、各地青年会議所の皆様、我々、社団法人淡路青年会議所の感謝の意を表すために委員会手作りのオープニングVTRをご覧頂きたいと思っております。

また、後の祝賀会におきましてもオープニングとおもてなし企画を担当させて頂きます。祝賀会のオープニングは華々しく開会できるように心がけ企画させて頂きました。おもてなし企画ではご出席頂いた皆様に淡路流の「おもてなし」をもって日頃の感謝の気持ちを表現したいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

会員委員会
委員長 廣井 公寿

会員委員会の役割ですが、45周年記念式典並びに記念祝賀会に向けて間近に迫った本番へ備えるべく、現役メンバーの意識高揚、当日までモチベーションを保つ事を目的としています。

その為、現地にて説明会をおこない、決起集会を開催し、現役メンバーが一致団結し周年事業を成功へと導く第一歩を先駆けてたいと思っております。

気持ちが一つになって当日を迎えるように、皆様のご協力をお願いします。

携帯電話から簡単アクセス!!



社団法人淡路青年会議所
モバイルサイト

携帯サイト

(<http://awaji-jc.or.jp/mobile.html>) の
QRコードを作成しました。

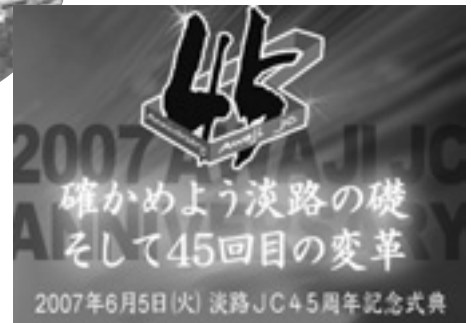
皆様ご利用下さい。

又、QRコードを商用利用する場合でも
使用料は必要ありません。

ライセンス契約等も不要です。

名前、屋号からHPアドレス等をQR
コードにして名刺に掲載!なんてのは
いかがでしょうか?

淡路島の地に青年会議所が誕生し、45年の月日が経ちました。私たちが敬う多くの先輩方が残して下さった歴史を振り返り、しっかりと心に刻み、これからのJC活動をやっていかなければならないと考えます。そして記念式典・祝賀会においては、「絆」というテーマにもありますように、先輩方によって築かれた礎があつて今日があるということをおぼえ、お世話になつた皆様に対しておもてなしの精神を忘れることなく、感謝の気持ちを表したいと考えます。また当委員会においては、記念品を担当しております。お帰りの際などに、「淡路」を感じていただければ幸いです。当日もどうかよろしくお願いいたします。



4月Jaycee

研修例会事業報告

Jaycee研修委員会 斉藤 新太

去る4月11日洲本市文化体育館にて「4月Jaycee研修例会」を開催いたしました。当日はシホ有限会社G-Rev.代表取締役藤田志穂様に「きっかけは渋谷だった ギャルの思いを全国に発信しました。」と題しましてご講演を頂きました。

今回の研修例会での講師は我々とは年代の違う20代前半です。藤田志穂氏の経験談、今に至るまでの過程を交えてご講演いただく中で、デジタル社会に慣れ親しんだ若い年代の人でも「行動力」「熱い思い」など、根本は昔の考え方と全く違っていない、忘れられがちである「勇氣」「情熱」などの姿勢の重要性を再認識させて頂きました。一方でそのアナログな姿勢の中での子供心の柔軟な姿勢を忘れずあらゆる角度から柔

事業報告

軟に対応して、重要性を再確認し、今後のJC活動を行う上での糧を得ることが出来たと確信します。当日は多くのメンバーにご出席いただきありがとうございます。6月にはJaycee研修委員会でも事業を予定しています。次会研修事業も出席のほどよろしくお願い致します。



第13回わんぱく相撲淡路場所

青少年育成委員会 副委員長 仲野 正倫

去る5月5日(土) 津名スポーツセンターにて第13回わんぱく相撲淡路場所が行われました。当日は、天気予報では雨の予報でしたが、わんぱく力士の白熱した戦いにより雨もどこかへ吹き飛んでいきました。今年も淡路市相撲連盟の方々とも事前に何度も打ち合わせを行いお互いに協力し役割分担を決め当日に臨みました。その甲斐もあつてほぼ予定通りに運営することができました。

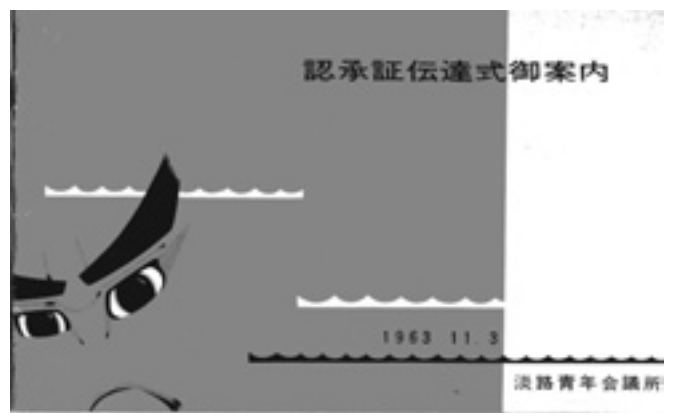
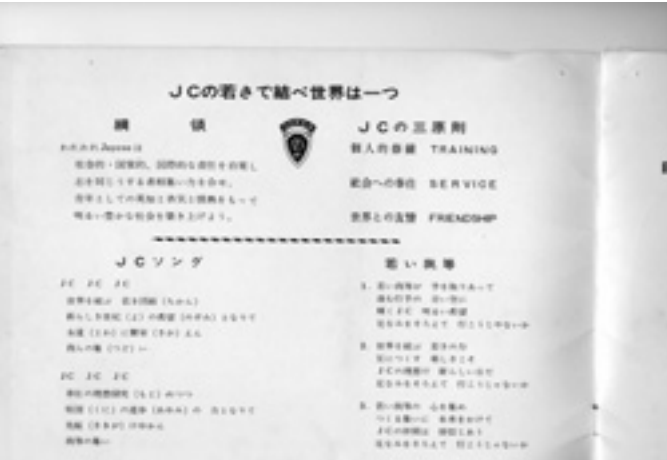
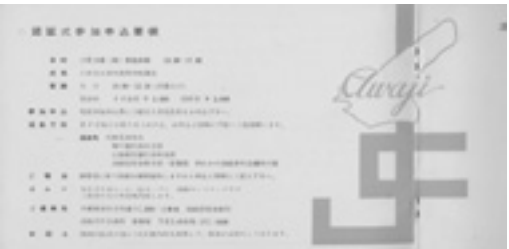
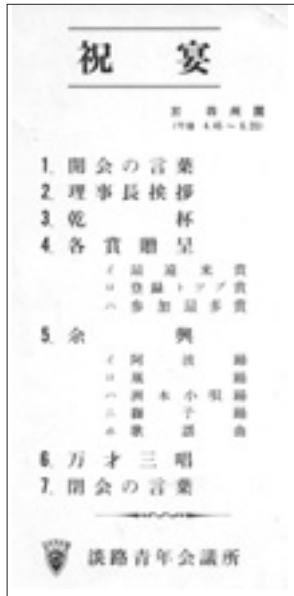
また、ゴールデンウィークの大変忙しい中、沢山のメンバーの方々にも参加していただきご協力いただきました。メンバー一人ひとりの力を借りずには無事に終わることができなかつたと思います。本当にありがとうございました。



特集 礎を知る

今回 プレスのインタビュアーにて弦牧初代理事長の元へお邪魔した際に創立当時の貴重な資料(チャーターナイトのご案内、当日の次第等)をお借りすることが出来ました。

苦勞に苦勞を重ね、創立までの数ヶ月間に、尽力された当時のチャーターメンバーの熱い念いが紙面から伝わってきます。
洲本高校で行われた認承証伝達式、四州園での祝宴、今では簡単な開催場所選びでさえ、当時は会場が無く、かなり苦勞をされたそうです。44年間の礎を築いてくださり、今も大事にされている諸先輩方に感謝!!



才花出向者の動き

(社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 地域のアイデンティティ創造会議議長)

5月12日(土) 龍野JCI周年
26日(土) 第3回役員会(小野加東)

畑野出向者の動き

(社団法人日本青年会議所 近畿諸国歴史検証委員会)

5月26日(土) 第5回委員会
(社) 日本青年会議所 JCI会館

JC NOW

- ・審議事項
 - (1)3月45周年記念合同例会事業報告並びに決算報告の件
 - (2)45周年記念合同例会事業報告並びに決算報告の件
 - (3) 前期入会説明会事業報告並びに決算報告の件
 - (4) 5月健康増進例会の件
- ・協議事項
 - (1)6月コーチング例会の件 【2/2】
 - (2)Jaycee研修事業
～Jayceeの汗が子どもたちの笑顔になる～(仮称)の件 【2/2】
 - (3) 7月選挙例会の件 【1/2】
 - (4) 『ふるさと“淡路”forキッズ』
～淡路島への愛着を深めよう～の件 【2/3】
 - (5) (仮称) 憧れの島創造事業の件 【1/3】

編集後記

5月にはいり、いよいよ45周年記念式典まで一ヶ月を切りました。
今月は式典、直前号ということで、弦牧初代理事長に淡路JCI創立当時の貴重なお話を伺いました。気軽に応じていただき、当時を振り返りながら熱く語って頂き本当にありがたうございました。淡路JCI伝統の16文キックの発祥がチャーターナイトだったとは・・・驚きです(汗)又、式典に向けて各委員会、メンバー一丸となって前へ進んでいます。OBの諸先輩方には平日のお忙しい中ではございますが6月5日には多くのご参加を賜りますようお願い申し上げますが6月5日には多くのご参加を賜りますようお願い申し上げます。きずなオー!!